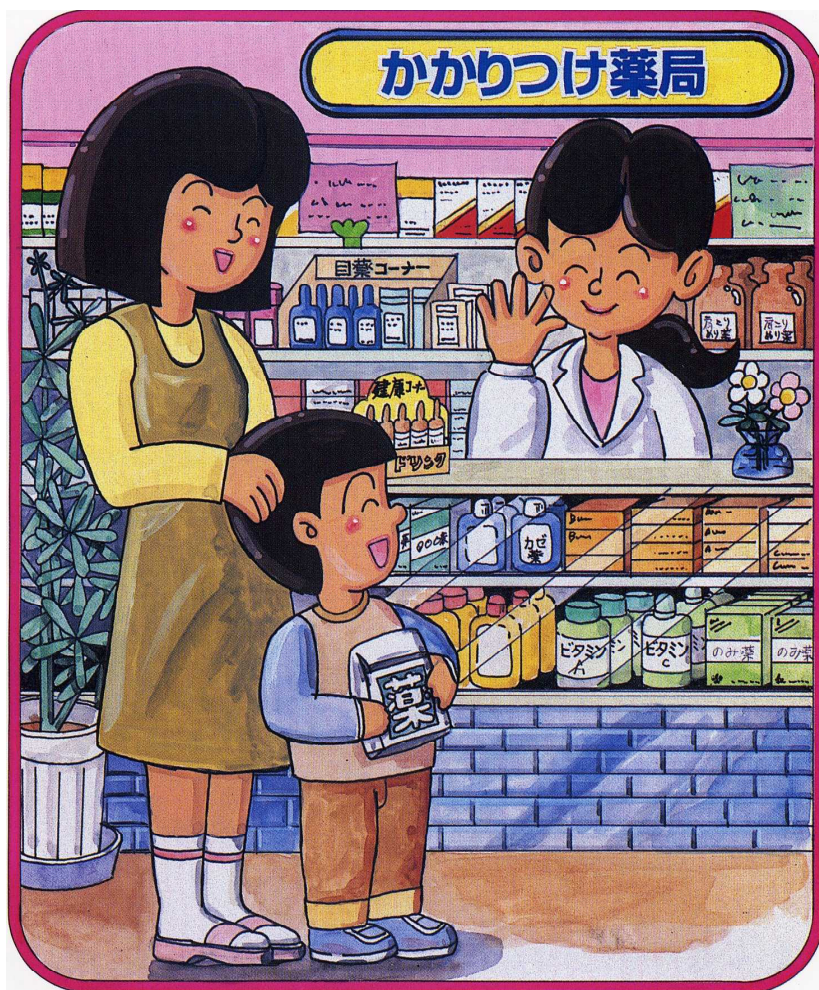


薬とくらしの教室

(申込案内)



秋田県健康福祉部医務薬事課

教室の目的

近年、医学・薬学の進歩による医療技術の向上は著しく、不治の病と言われた病気を治せるケースも増えてきており、薬の種類もひと昔前とは比べものにならないくらい多くなっています。

薬は、様々な病気のつらい症状を楽にしたり、症状がひどくなることを防いだりするもので、医療にとって欠かせない存在となっていますが、その反面、体にとって望ましくない働きをしてしまう可能性を否定できません。報道等で、この「副作用」の話題がよく取り上げられています。

薬の「効果」と「副作用」は、どちらも薬が体に働きかけた結果で、切り離すことができないものです。

だからこそ、

- ・薬はなぜ効果があるのか
- ・どうすればよく効くのか
- ・安全に使うためにはどのようにしたらよいのか

などについて知ったうえで薬を使うことが重要です。

さらに、お薬手帳の使い方や、古くからある薬と新しくできた薬の違いなどを知ること、薬を正しく使うためには大切なことです。

本教室は、このような内容をわかりやすく説明し、理解していただくことで、皆様のくらしの中で薬がよりよく使われることをめざして行うものです。

実施の期間

令和8年4月から令和9年3月まで

教室の開催方法

希望者からの申し込みを電子申請により秋田県健康福祉部医務薬事課で受け付け、派遣する講師を調整したうえで開催します。

○申込方法

教室開催希望日のおよそ1か月前までに、別紙記載の申込フォームよりお申し込みください。

○講師

講師は、(一社)秋田県薬剤師会会員があたります。

○教室開催の経費等

講師の旅費、講師料は不要です。ただし、会場使用に係る経費(借用料、設営費等)は受講者側で負担してください。

○教室の時間

60分から90分程度を予定しています。

なお、本教室を更に充実させるため、「薬とくらしの教室」代表者アンケート調査にご協力くださるようお願いいたします。

※終了後にご回答をお願いします。

教室の内容

本教室では、次のア～クの内容についてお話いたします。

特に、重要なア(ア)(イ)(ウ)の内容は、毎回、お話します。

特に希望する内容がある場合は、申込書に記入ください。

ア かかりつけ薬局・薬剤師

(ア) 薬の整理（重複、残薬、入院時等）・お薬手帳

(イ) 後発（ジェネリック）医薬品・バイオシミラー

(ウ) 電子処方箋・オンライン服薬指導・処方薬の配送

イ 薬の正しい使い方

（薬の知識や使用方法、市販薬のオーバードーズ等）

ウ 乳幼児・小児への薬の上手な飲ませ方

エ 医薬品と健康食品・サプリメントの違い

オ 薬等の最近の話題（緊急避妊薬等）

カ 健康サポート薬局・地域連携薬局

キ 申込者が希望する内容

（例）・複数の医療機関を受診している場合でも、薬局を一か所に

決めた方が良いのはどうして？

・新聞・雑誌にダイエットや健康に関する気になる記事・広告があるけど、本当に効果があるの？ など

※詳細は秋田県健康福祉部医務薬事課へお問い合わせください。

電話 018-860-1407